

平成22年度
日本丸メモリアルパーク

指定管理者 事業計画書

帆船日本丸記念財団・JTB共同事業体

目 次

1、管理執行体制

(1)職員配置体制表	2
(2)責任体制	3
(3)事故発生時対応	3
(4)緊急対応業務フロー	4
(5)緊急連絡体制表	4

2、指定管理業務計画

(1)年間業務計画表	
① 運營業務に関する計画表	5
② 管理業務に関する計画表	6
③ 海事思想・教育普及事業等に関する計画表	6
(2)外部委託予定表	7
(3)防犯・防災対策	7
(4)要望対応方針・事務フロー	7
(5)研修計画表	8

3、自主事業計画

(1)年間自主事業計画表	8
--------------	---

4、指定管理業務に係る当該年度の収支計画

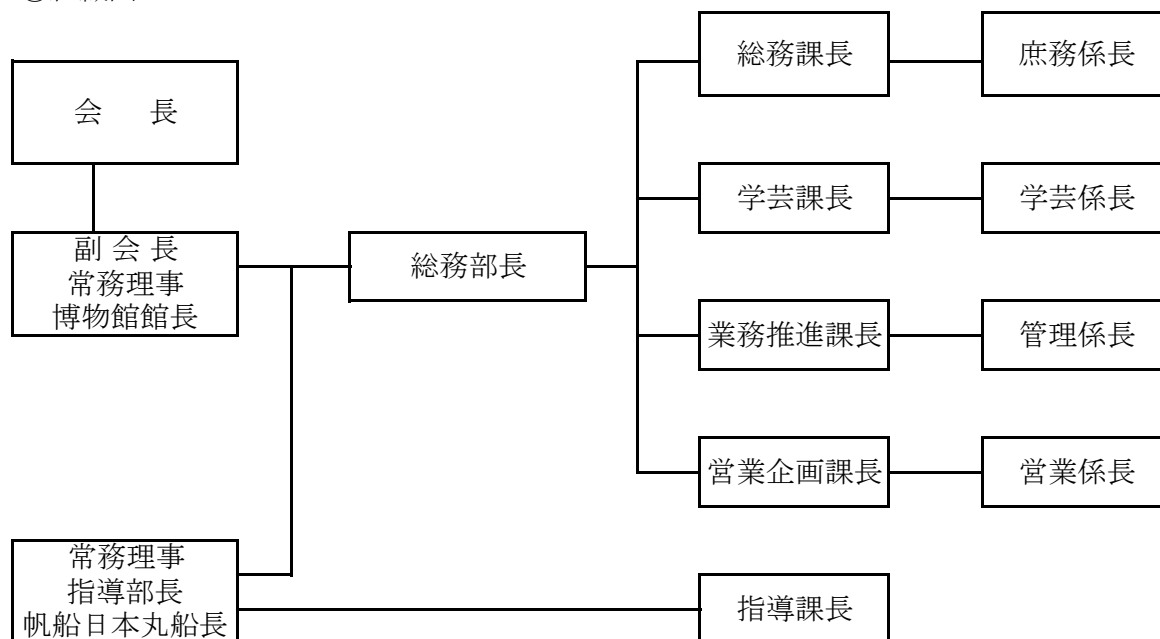
(1)収入	9
(2)支出	9

1、管理執行体制

(1)職員配置体制表

指定管理者の業務となる「日本丸メモリアルパーク施設」(以下「施設」という。)の管理運営については、次の職員配置体制(横浜みなと博物館リニューアルオープン後の組織変更の予定図)で業務を執行するものとします。

①組織図



②職員配置

業務内容	所管		分担業務	所属員	備考
一般管理業務	総務課	庶務係	庶務、経理、人事、給与、売店運営	4名	アルバイト3名配置 売店運営
横浜みなと博物館 管理運営業務	学芸課	学芸係	常設展示事業、特別展示事業、 教育普及事業、調査・研究・ 収集・出版活動事業、 ライブラリー(資料閲覧室)事業	3名	アルバイト6名配置 資料室運営等
一般管理業務	業務推進課	管理係	施設利用許可、金銭取扱、 訓練センター(研修施設)貸出、 ボートパーク運営、 学校市場営業、施設管理	5名	アルバイト9名配置 乗船・入館者管理 シーカヤック体験教室 (入門講座)運営
営業企画業務	営業企画課	営業係	イベント、広報、企画、営業	3名	アルバイト1名配置
帆船日本丸 管理運営業務	指導課		保存事業、公開事業、青少 年錬成事業、教育普及事業	11名	
計				26名	

(役員・兼務を含まず)

(2) 責任体制

指定管理業務については、次の責任体制で効率的な業務執行を図ります。

箇所名	業務責任者	指定管理業務
総務課	総務課長	庶務、経理、人事、給与、売店運営
学芸課	学芸課長	横浜みなと博物館事業 常設展示事業 特別展示事業 教育普及事業 調査・研究・収集・出版活動事業 ライブラリー(資料閲覧室)事業
業務推進課	業務推進課長	施設利用許可、金銭取扱、訓練センター(研修施設)貸出、 ボートパーク運営、学校市場営業、施設管理
営業企画課	営業企画課長	イベント、広報、企画、営業
指導課	指導課長	帆船日本丸事業 保存事業、公開事業、青少年錬成事業、教育普及事業

(3) 事故発生時対応

施設内で発生した事故等の緊急対応については、「緊急連絡体制 (P4参照)」により即応します。指定管理業務の遂行にあたっては、横浜市港湾局関係部署と常に連携を図り、緊急対応や安全確保に努めます。

① 施設内の巡回警備・施設点検について

管理運営は第一に「安全管理」である事を認識し、事故防止に万全を期すため施設内を警備員が定期的に巡回警備を行い、また、随時に職員が施設設備の巡回点検を実施することにより早期発見に努め、施設利用者の安全確保に努めます。

② 夜間及び休館日の災害・事故等の対応について

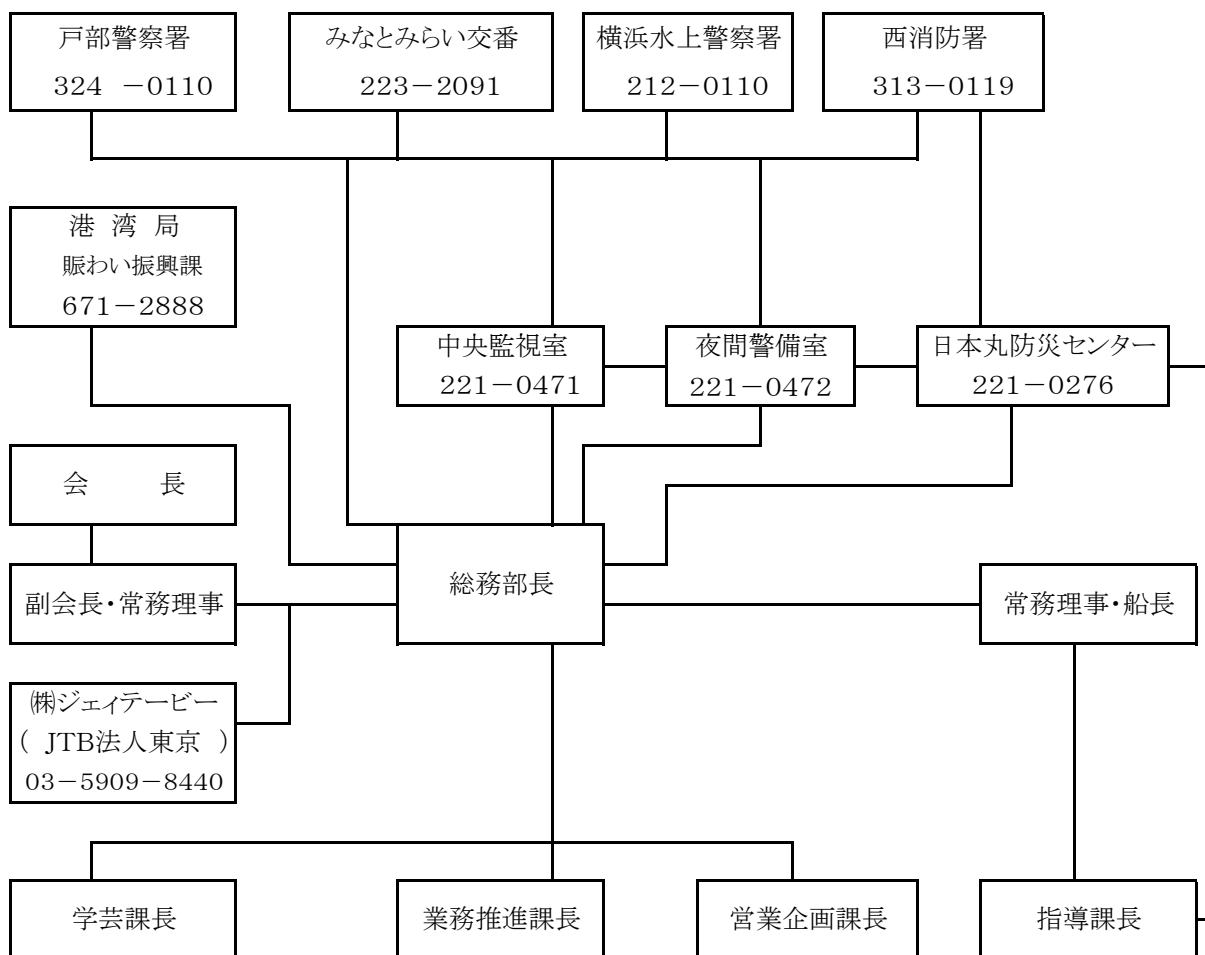
帆船日本丸及び横浜みなと博物館に、各1名警備員を常駐させ早期対応体制を構築し、「緊急連絡体制」により早期の対応を実行します。

(4) 緊急対応業務フロー

緊急時の対応については、次のフローのとおり対応します。

種別	緊急連絡の流れ
災害等発生	発見者 ⇒ 中央監視室 ⇒ 総務課長 ⇒ 総務部長 ⇒ 常務理事・副会長 日本丸防災センター ┌ ⇒ 庶務係長 ⇒ 館内放送指示 ⇒ 避難誘導 └ ⇒ 消防署・港湾局等関係機関へ連絡
ケガ・発病等	発見者 ⇒ 事務室 ⇒ 総務課長 ⇒ 総務部長 ⇒ 常務理事・副会長 ┌ ⇒ 本人の症状により、安静、応急処置、救急車呼出等の対応

(5) 緊急連絡体制表



※ 総務部長不在のときには、下位の者（総務課長。総務課長不在のときには、庶務係長）が確実に連絡することとします。

2、指定管理業務計画

(1)年間業務計画表

運営管理に関する基本協定書に基づき、業務を執行するとともに、役職者業務調整会議を定例的に開催し、その内容(決定事項等の詳細)を職員に徹底し、また、市民に広報活動を通じて情報を公開し、年間目標を達成するため、着実に業務を遂行します。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 帆船日本丸事業												
保存事業												
公開事業											検査工事	
公開(月曜日等休館)												
総帆展帆(計12回)	〇〇	〇	〇〇	〇	〇	〇〇	〇〇	〇	-	-	-	-
満船飾(計14回)	〇	〇〇〇	〇	〇	-	〇〇	〇	〇〇	〇	〇	-	〇
青少年錬成事業(海洋教室の実施)											検査工事	
教育普及事業											検査工事	
2. 横浜みなと博物館事業												
常設展示事業												
特別展示事業		—					—		—			—
教育普及事業												
調査・研究・収集・出版活動事業												
ライブラリー(資料閲覧室)事業												
3. 日本丸メモリアルパーク事業												
日本丸メモリアルパーク(緑地等)の維持管理・活用												
訓練センター(研修施設)の管理運営												
4. その他												
集客・プロモーション事業												
自主事業												

①運營業務に関する計画表

各施設の公開時間

施設名	開館時間	休館日	適用
緑地	24時間(終日)		
帆船日本丸	午前10時から午後5時まで	月曜日(祝日にあたる時は翌日 但し、5月3日、1月3日は開館) 12月29日～12月31日 2月1日～2月28日	帆船日本丸は検査工 事のため、休館日に 変更あり
横浜みなと博物館	午前10時から午後5時まで	月曜日(祝日にあたる時は翌日 但し、5月3日、1月3日は開館) 12月29日～12月31日 2月1日～2月4日	横浜みなと博物館は、 燻蒸のため、休館日 に変更あり
訓練センター(研修施設)	午前9時から午後10時まで	12月29日～12月31日	

②管理業務に関する計画表

種 別	箇 所・業 務 名	内 容	回 数 等
有資格者の配置	帆船日本丸	船長及び一等航海士	通年
	横浜みなと博物館	学芸員、司書、電気主任技術者	
安全管理	日本丸メモリアルパーク(緑地)	*警備員による通常警備(監視業務・巡回警備等)、特別警備(左記のうち必要な箇所)、交通誘導(日本丸メモリアルパークの緑地)	通年又は随時
	帆船日本丸		
	横浜みなと博物館		
	訓練センター(研修施設)		
	タワー棟	*防災管理者 緊急対応	随時
	屋外トイレ	*職員による巡回点検	随時
設備維持管理	中央監視設備	横浜市が認定した有資格業者に管理委託 日常巡視点検 定期点検整備 法定点検整備	◎電気・機械設備等 保守点検月1回 及び年1回実施 ◎消防・特別高圧 変電設備等法定検査 年1回実施
	電気設備		
	空気調和設備		
	給排水衛生設備		
	昇降機設備		
	消防関係設備		
帆船日本丸 船体検査・整備		横浜市からの要請による関係官公庁等と連絡対応	年1回(約1ヶ月) *横浜市が経費負担
小破修繕	建築物等、帆船日本丸、電気・機械設備等、昇降機設備	指定管理の修繕が不可能な場合は横浜市と協議	
設備関係の測定及び記録	運転・作業日誌、日常巡視点検記録、定期点検・測定記録、業務連絡簿は3年間保存 事故故障記録、補修・改良工事記録は5年間保存 設備機器・工具計測台帳、設備図書は永年保存		
清掃	日本丸メモリアルパーク全体		
植栽管理	日本丸メモリアルパーク(緑地)		

③海事思想・教育普及事業等に関する計画表

箇 所 名	内 容	実施回数等	
帆船日本丸	総帆展帆	12回予定	
	満船飾	14回予定	
	海洋教室	半日・1日コース	20回予定
		宿泊コース	12回予定
	甲板みがき・真鍮みがき等		通年
	展帆ボランティアの養成		1回予定
	総合学習甲板みがき体験		通年
横浜みなと博物館	常設展示・公開	通年(休館日除く)	
	企画展等の展示・公開	4回予定	
	工作教室、ポートウォッチング、海図教室、操船教室、ミナト散歩、船の見学会	22回予定	
	資料の収集・調査・研究・出版・貸出・レファレンス	通年(休館日除く)	
	ライブラリー(資料閲覧室)の公開	通年(休館日除く)	

(2) 外部委託予定表

原則として、年度単位で次の業務を指名競争入札により委託します。

種 別	名 称	発注時期
電気設備	電灯・動力、変電、自家発電、直流電源、通信・情報、外灯、防犯	平成22年3月、随時
機械設備	給排水衛生、空調、昇降機、監視制御装置、防災、自動ドア	平成22年3月、随時
清掃業務	日本丸メモリアルパーク(緑地・屋外トイレ)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター(研修施設)、タワー棟	平成22年3月、随時
警備業務	日本丸メモリアルパーク(緑地)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター(研修施設)、タワー棟、屋外トイレ	平成22年3月、随時
植栽業務	日本丸メモリアルパーク	平成22年3月、随時

(3) 防犯・防災対策

施設利用者の安全及び財産管理を第一に、昼夜防犯・防災及び事故防止に努め、不測事態が発生した場合は、「緊急連絡体制」により、管理責任者の指示のもと最善の対応を実施します。

防犯・防災・事故防止等の対策として、昼夜委託警備体制で施設の巡回及び定位置警備を行うことにより、利用者の安全を確保し、施設内では火気・施錠等の管理徹底を図り、退所時は「防火等管理簿」の各項目の確認処理を行い、事故防止を実行しています。

(4) 要望対応方針・事務フロー

施設利用者の要望収集は、窓口等の直接的な要望とアンケート等の要望の2つに分けられます。

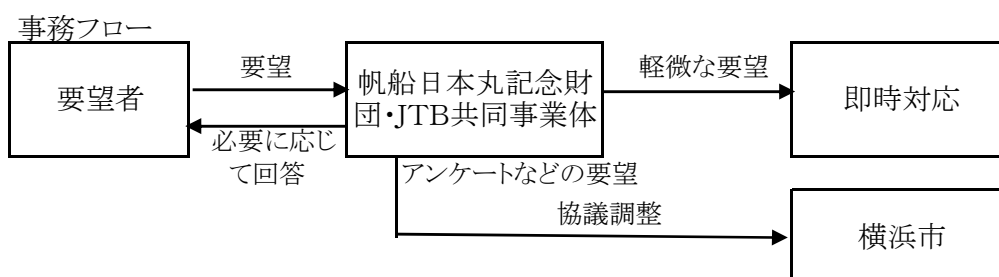
① 窓口等の直接的な要望

担当者が即時対応し、完了後、総務課長に報告します。

② アンケート等の要望

- ・毎日の施設利用者としての「利用者アンケート」の意見や要望内容を集約し、苦情等は毎日の朝礼で確認し、通常業務へ反映させ、具体的に実施します。
- ・リニューアル後の全体的なアンケート調査を年1回実行し、役職者会議や職員会議などで内容を分析し、今後の業務へ反映し、具体的に実施します。

また、必要に応じて横浜市の関係機関と協議を行います。



(5) 研修計画表

研修項目	研修内容	実施回数・時期	備考
マナー研修	窓口・電話応対	年2回 ・ 4月、10月	
個人情報保護研修	重要性と管理方法	年2回 ・ 4月、10月	
防災訓練	情報伝達・避難誘導・消火器操作・放水	年2回 ・ 9月、3月	

3、自主事業計画

(1) 年間自主事業計画表

賑わいづくりとサービスの向上を目的とし、関係機関及び地域の関係施設とより密接な連携を図り、施設を活用したオリジナリティーの高い種々の企画事業を展開していきます。

種 別	内 容
キッズのためのクイズラリー	博物館の展示からクイズを出題し、全問正解で粗品進呈(毎週土曜日)
帆船日本丸公開25周年記念式典・イベント	記念式典及び横浜市消防音楽隊のコンサートを実施
G. Wイベント	G. W期間中、演奏会やフラダンスなどを実施し、賑わいを創出
シーカヤック事業	シーカヤック体験教室を日本丸周辺水域で実施
小学校教員向け施設説明会	団体誘致を図るため、小学校の教員を対象にした施設見学会を実施
帆船日本丸Tシャツ公募展	公募された日本丸のTシャツデザイン画を一堂に展示
サマーナイト日本丸	日本丸と横浜みなと博物館をライトアップし夜間公開延長
クリスマスナイト日本丸	イルミネーション等で演出する夜間特別公開
日本丸進水記念イベント	1月27日 81回目記念日の企画
日本丸ウェディング	日本丸船上、アリーナ結婚式、記念写真撮影
お正月イベント	3が日、正月にふさわしいイベントを企画
吹奏楽コンサート	日本丸アリーナでコンサートを開催(年間14回予定)
フリーマーケット	パークを活用し、他団体との共催にて開催(年間15回予定)
その他	タイムリーな企画を実行

4、指定管理業務に係る当該年度の収支計画

(1) 収 入

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
指定管理料	300,000	
利用料金収入	54,500	観覧料収入、研修施設使用料収入 緑地使用料収入、海洋教室等収入
自主事業収入	17,070	横浜港ボートパーク(シーカヤック)事業収入、新企画イベント収入 利用料金関連収入、自販機手数料収入、共益費収入、雑収入
その他の収入	23,380	助成・協賛金収入、財団管理費繰入額
収入合計	394,950	

(2) 支 出

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
指定管理施設 運営事業費支出	352,033	帆船日本丸事業費支出、横浜みなと博物館事業費支出、 緑地事業費支出
指定管理者 管理費支出	34,707	
自主事業費支出	8,210	横浜港ボートパーク(シーカヤック)事業費支出、自主事業管理費支出
支出合計	394,950	

当期収支差額	0	
--------	---	--